

〔本草和名十五〕豹肉、和名奈加都加三、

〔倭名類聚抄十八〕豹毛群名、說文云、豹、補教反、日本紀私、似虎而圖文者也、

〔箋注倭名類聚抄七〕原書豸部無而字及者也、字、埤雅、豹花如錢、黑而小於虎、文、本草衍義、豹毛赤

黃、其紋黑如錢而中空、比々相次、

〔類聚名義抄四〕豹或豹字、或豹字、豹正、ナカツカミ、

〔東雅十八〕豹ナカツカミ、義不詳、陰陽家に豹尾神あり、其位中宮にあるなり、されば豹を呼びて、

中津神と云ひしに似たり、豹は尾を貴しとすといふ事は、陶弘景が説にも見えけるなり、

〔南留別志二〕一豹をなかつかみといふは、歌書にもいはず、むつかしき詞なり、何もの、作りいで

たる事ならん、

〔本草綱目譯義五十一〕豹ナカツカミ、古訓

朝鮮ニ多ク、中華ニ少シ、舶來ノ皮朝鮮産也、形ハ虎ノ如シ、紋異也、虎ハ黃質黑章也、異文長シ、豹ハ

白質黑章ト云也、黃質黑章モアリ、

〔延喜式四十一〕凡五位以上聽用虎皮、但豹皮者、參議以上及非參議三位聽之、自餘不在聽限、

〔延喜式二十一〕祥瑞

赤豹○中、右中瑞

〔日本書紀十九〕十四年十月己酉、百濟王子餘昌明王子盛德王也、悉發國中兵、向高麗國築百合野塞、眠食軍

士○中、會明有著頸鎧者一騎、插鏡者鏡字未詳、二騎、珥豹尾者二騎、并五騎、連轡到來、○下

〔日本書紀二十二〕十九年五月五日、藥獵兔田野、○中、是日諸臣服色皆隨冠色、各著髻華、○中、大仁小

仁用豹尾、

〔日本書紀二十九〕朱鳥元年四月戊子、新羅進調從、筑紫貢上、○中、虎豹皮及藥物之類、并百餘種、